

補助事業番号：26-1-006

補助事業名：平成26年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

強化指定選手を対象に合宿等により選手強化を行い、各年の国際大会で活躍することにより、自転車競技の普及を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 強化指定選手を対象に選手強化合宿等の実施

当連盟は、日本を代表して国際舞台で活躍する選手の強化育成を行うと共に、オリンピックやUCI主催の世界選手権等の著名な競技大会に選手を派遣し、日本自転車競技界の国際的な地位向上を図っている。

自転車競技の普及は日本より海外（特に欧州）が先進的であるが、日本人選手が国際大会に出場して好成績を挙げることによって、多くの国民が自転車競技に対する強い関心を持つことにつながり、自転車競技の普及振興に資することになる。

選手強化については、国内における公式競技大会での成績を基準に、専門委員会において強化指定を受ける選手を選考し、強化合宿を実施する。選手派遣については、選手を始め監督、メカニック、トレーナー、スポーツドクターらによるチームを構成し、世界選手権等の国際大会に選手派遣を行う。

本事業における活動は以下のとおりである。

・ 五輪参加資格付与制度

ア. 平成25年におけるロードレース、トラックレース、マウンテンバイク及びBMXの選手強化を中心とした、各種自転車競技の強化合宿の実施状況は以下のとおり。

<トラック>

4月6日～8日 トラック短距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

参加人員 選手 男子10名 女子6名 スタッフ7名

4月18日～20日 トラック強化合宿を福島県・泉崎にて実施した。

参加人員 選手 男子19名 女子10名 スタッフ8名

5月1日～10日 トラック短距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

参加人員 選手 男子13名 女子9名 スタッフ8名

・ 第6回JCFトラック強化合宿開催

6月5日～7日 トラック短距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

参加人員 選手 男子7名 女子0名 スタッフ2名

7月10日～16日 トラック女子中距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

参加人員 選手 男子0名 女子6名 スタッフ3名

8月1日～5日 トラック中距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

- 参加人員 選手 男子8名 女子5名 スタッフ3名
 8月31日～9月6日 トラック短・中距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子10名 女子5名 スタッフ5名
 9月11日～13日 トラック短距離合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子7名 女子0名 スタッフ3名
 10月18日～22日 トラック短強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子10名 女子5名 スタッフ5名
 10月26日～31日 トラック短・中距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子10名 女子4名 スタッフ3名
 11月23日～27日 トラック短・中距離合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子7名 女子8名 スタッフ3名
 12月16日～20日 トラック女子中距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子0名 女子6名 スタッフ3名
 12月24日～27日 トラック短距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子13名 女子1名 スタッフ6名
 1月23日～25日 トラック短・中短距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子9名 女子7名 スタッフ4名
 3月11日～19日 トラック女子中距離強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 男子0名 女子5名 スタッフ3名

<ロード>

- 5月8日～9日 女子ロード強化合宿を東京・JISSにて実施した。
 参加人員 選手 女子1名 スタッフ5名
 5月17日～21日 女子ロード強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 女子2名 スタッフ4名
 5月17日～25日 ロード強化合宿を大阪・岐阜・長野・静岡・東京にて実施した。
 参加人員 選手 男子6名 女子0名 スタッフ3名
 6月30日～7月3日 ロード強化合宿を大阪・岐阜・長野・静岡・東京にて実施した。
 参加人員 選手 男子19名 女子3名 スタッフ3名
 10月17日～19日 ロード男子強化合宿を栃木県・宇都宮市にて実施した。
 参加人員 選手 男子5名 女子0名 スタッフ3名
 11月12日～19日 U23ロード強化合宿を島根県及び東京・JISSにて実施した。
 参加人員 選手 男子13名 スタッフ3名
 12月6日～7日 ロードトライアウト合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。
 参加人員 選手 女子4名 スタッフ2名
 12月11日～15日 女子ロード強化合宿を沖縄県・宮古島にて実施した。
 参加人員 選手 女子8名 スタッフ1名

<BMX>

12月20日～23日 強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

参加人員 選手 男子13名 女子5名 スタッフ3名



<マウンテンバイク>

1月9日～24日 強化合宿を静岡県・日本CSCにて実施した。

参加人員 選手 男子6名 女子2名 スタッフ5名



<室内>

9月20日～22日 強化合宿を大阪府・関西大学にて実施した。

参加人員 選手 男子11名 女子3名 スタッフ5名

②国内屋内型競走路合宿事業

トラック競技における競走路は屋内型 250m 木製競走路が国際標準となっており、特に周長が競走形態に与える影響は顕著であり、海外で行われる国際大会において上位入賞するためには、同様の競走路での訓練が必要不可欠であることから、国内において唯一の屋内型 250m 木製競走路である伊豆ペロドロームにおいて合宿を実施した。

③<コーチ・スタッフ>の整備等事業

選手強化合宿、大会派遣においてベストコンディションで臨む為には、専門的な知識・経験を有する指導者や機材の整備技術に秀でたメカニック、スポーツ専門のドクターが必要不可欠であることから、強化合宿をはじめ、海外での大会派遣の際に日本ナショナルチーム選手団として帯同した。

④競技用機材等整備事業

競技機材である自転車はその素材や形状について、各国が技術の粋を競っている状況である。機材（自転車のパーツ等）についても大会出場や練習による劣化や損傷が避けられないため、強化指定選手が使用する機材について、整備を実施した。

2. 予想される事業実施効果

競技別種目別に強化指定選手を集め、専任コーチやスポーツドクター、メカニック、マッサージによるサポート体制を整えた強化合宿を実施することにより、選手各人の長短所を相対的に浮き彫りにし、かつ、選手自らも気づきを誘導する環境下において、競技力の向上を目指すことが可能となる。

ワールドカップ、世界選手権、オリンピックでのメダル獲得を目指すには、選手個人の資質のみに頼るのではなく、科学的アプローチや人的・物的支援の下、集中的なトレーニングが必要不可欠であり、その結果として平成27年3月末日現在の日本記録（タイム種目）のうち、平成26年度において8記録の実績を残し、成果を实らせていると思料するが、世界記録についても更新されている状況でもあり、選手強化、特に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えるとジュニア層に対する強化合宿をはじめとする選手強化事業が重要であると思料する。先述の日本記録8個のうち、4個については男子ジュニア（1個）、女子ジュニア（3個）によるものとなっており、大いに期待できるものと思料される。

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人日本自転車競技連盟

（コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ）

住所：141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1

代表者名：会長 石崎聖子（イシザキセイコ）

担当部署：総務部

担当者名：総務部長 菊田 聡

電話番号：03-6277-2690

FAX 番号：03-6277-2691

URL：<http://jcf.or.jp/>